

## 平成26年度 外部評価委員会

### 外部評価対象施策評価シート及び実施事業管理票

#### 【施策名】

#### 5-1-2 工業の振興

施策の名称	事業の名称	主管課等名	ページ
工業の振興			1.2
1	企業等立地促進事業	産業振興課	3.4
2	ISO認証取得促進事業	産業振興課	5.6
3	産学官連携推進事業	産業振興課	7.8
4	中小企業融資事業	産業振興課	9.10
5	中小企業信用保証料補助事業	産業振興課	11.12
6	起業家育成事業	産業振興課	13.14
7	産業支援プログラム推進事業(工業)	産業振興課	15.16

※ 本シートは、平成26年7月1日現在の内部評価の途中段階のものであるため、今後、内容が変更される場合があります。

平成26年度 町総合計画後期基本計画 施策進行管理・評価シート（平成25年度実施事業分）

施策名	5 - 1 - 2	工業の振興
-----	-----------	-------

1. 基礎情報

施策責任者(部等の長)	環境経済部長
施策関係課等名	産業振興課
シート作成者(主担当である課等の長)	産業振興課長
作成補助者(関係課等の長)	—
作成年月日	平成26年6月19日

後期基本計画 掲載状況	(章) 魅力ある産業と活力あるまちづくり (節) まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります
----------------	--

2. 施策内容

めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業経営しやすい基盤整備が進み、町内に新たな企業が創出されている。</li> <li>●町内の中小企業の経営が安定している。</li> </ul>
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域環境に配慮した企業や研究開発型の企業誘致を図り、新たな産業集積を図ります。</li> <li>●近隣市との広域連携及び「産・学・官」の連携を進めます。</li> <li>●中小企業の経営安定化に向け、中小企業支援策の充実を図ります。</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工業環境の整備</li> <li>●中小企業の育成</li> </ul>

3. 施策に係る事務事業のH25年度の実施状況

施策の方向	事務事業名	各事務事業における内部評価			決算見込額(円)
		妥当性	効率性	有効性	
工業環境の整備	企業等立地促進事業	A	A	C	4,500,227
	ISO認証取得促進事業	C	D	D	170,000
	産学官連携推進事業	C	A	F	0
中小企業の育成	中小企業融資事業	C	D	C	36,557,400
	中小企業信用保証料補助事業	C	D	C	266,000
	起業家育成事業	C	A	C	106,189
	産業支援プログラム推進事業(工業)	C	A	A	(5-1-1「商業の振興」からの再掲)

4. 町民アンケート調査(H26年4月実施)による現状評価

施策	調査項目 [( )内はH21年度調査時]						
	十分	やや十分	やや不十分	不十分	わからない	無回答・無効	合計
工業の振興	10	48	88	76	210	34	466
	(7)	(39)	(65)	(66)	(291)	(22)	(490)
	2.2%	10.3%	18.9%	16.3%	45.1%	7.3%	100%
	(1.4%)	(8.0%)	(13.3%)	(13.5%)	(59.4%)	(4.5%)	(100%)

5. 施策の計画期間内における目標指標と実績

指標名	単位	H22 実績値	H25 実績値	H26 予測値	H26 目標値
製造品出荷額等	億円	(H21実績値) 3,221	(H24実績値) 3,321	3,350	3,221
企業立地条例による立地企業数(累計)	所	(H21実績値) 6	7	7	9
中小事業所現金給与総額(4~299人)	億円	(H21実績値) 230	196	200	230

6. 施策の成果と今後の課題・取り組み

評価	<input type="checkbox"/> A: 施策は推進され、成果はあがっている <input type="checkbox"/> B: 施策は推進されていないが、成果はあがっている (予想以上の成果が出ている。目標指標に対し、手段(事務事業)が合致していないが成果は出ている。) <input checked="" type="checkbox"/> C: 施策は推進されているが、成果はまだあがっていない <input type="checkbox"/> D: 施策は推進されておらず、成果もあがっていない
現状・課題	《上記評価に至る分析や判断理由》 平成26年度末に予定されている「さがみ縦貫道路」の全線開通を控えている中で、町内にある2箇所のIC周辺を中心に、工業地としての魅力や優位性を町内外に発信し、優良企業誘致等の取り組みをすすめる必要があるが、現状では産業集積を予定する地域への企業誘致を展開できる状況に至っていないため、既存企業に対する事業資金や設備投資等への支援を中心とする事業を行っている。 また、企業訪問の成果として構築したメーリングリストを活用し、国や県の支援制度などの時機に合った情報を企業に提供するとともに、藤沢市、茅ヶ崎市との広域連携や地元大学や関係団体との連携した企業支援を行っている。
今後の取り組み	《評価をB・C・Dとした場合の現状・課題に対する改善策等 また、社会経済環境等の変化により、対応が必要な事項》 ISO認証取得促進事業については、企業ニーズを把握するとともに必要であれば、エコアクションやエコステージの取得にも補助対象を広げることで、企業の取引拡大を支援していきたい。また国のセーフティーネットの動向に左右されている融資事業や信用保証料補助事業については、近隣市町とも連携して国の動向を把握し、国の制度の対象から外れてしまった企業を救えるように適切な準備をしておく。 また、産業集積を予定する地域の進捗状況を見ながら、神奈川県とも連携し、周辺地域への進出を検討する企業の情報収集を行い、企業誘致の準備を進める。

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	大山孝司	秋庭浩子	長瀬佳奈						

<b>事業名</b>	<b>企業等立地促進事業</b>
------------	------------------

後期基本計画掲載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画(章)	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5121-01						
後期基本計画(節)	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	予算科目コード	01	07	01	02	270	001	005
後期基本計画(項)	工業の振興	予算区分	政策・一般						

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>	
町内への新規立地や新たな設備投資をする企業等に対して、税の軽減や雇用奨励金の支給、また県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を行っている	
<b>課題整理</b>	
企業等を誘致するための土地が少ないことや、田端西地区の土地利用について、地元の合意形成が得られていない現状では、誘致という観点よりは既存企業の流出を防ぎつつ事業機会の拡大を促すというのが主な事業となっている。	
<b>事業目的</b>	
既存企業等の保護及び事業拡大、並びに新規企業等の立地を促進し、経済の持続的な発展を図る。	
<b>事業概要</b>	
企業誘致や既存企業の投資を促し地域産業の振興を図るため、町内に新規立地等する企業に対して税の軽減や雇用奨励金の支給、県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を行うとともに、制度利用の促進のため情報発信を行う。	
根拠法令等	寒川町企業等の立地促進に関する条例

## 3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<b>事業目標</b>									
制度周知回数(広報、ホームページ、工業協会、企業訪問での説明など)	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	4	4	4					
	実績値	4	12						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	12	12	12					
	実績値								
事業効果	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	1	1	1					
	実績値	0	0						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	1	1	2					
	実績値								
企業立地新規認定件数(件)	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	2	3	3					
	実績値								

## 4-1. 評価

### (1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》 \* 町が実施すべき事業か  
 \* 町が実施しない場合の影響は  
 \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は  
 \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	企業誘致や既存企業の投資を促し地域産業の振興を図るため、町内に新規立地等する企業に対して税の軽減や雇用奨励金の支給、県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を行う。
	<input type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》 \* 事業は効率的に行われているか  
 \* コストの節減  
 \* 実施手法の改善  
 \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	広報やホームページ、企業訪問等でのPRに加え、神奈川県企業誘致促進協議会のホームページでの紹介や誘致協が出展する展示会や神奈川県企業立地トップセミナーにてパンフレットを配布した。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
		区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	C				
H25	C				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28					
H29		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H30		D	指標の80%を 達成していない		効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H31		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H32		F			その他特別な事情があるもの。
		Z			未着手

 ※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

**4-2. 改善**

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》
H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	8,604,190	4,500,227	1,659,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	8,604,190	4,500,227	1,659,000						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者（課等の長）		畑村正樹	畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	秋庭浩子	秋庭浩子	長瀬佳奈						

<b>事業名</b>	<b>ISO認証取得促進事業</b>
------------	--------------------

後期基本計画掲載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無								
後期基本計画（章）	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5121-02						
後期基本計画（節）	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります。	予算科目コード	01	07	01	02	270	002	005
後期基本計画（項）	工業の振興	予算区分	政策・一般						

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>	現状の申請状況からしてISOの取得が一段落していると考えられる。
<b>課題整理</b>	多くの企業が取得を済ませているのか、取得経費が課題となって、取得に踏み切れない企業があるのか、あるいは必要性を感じていない企業があるのか、エコアクション21であれば取得する意向があるのか、企業訪問等を通じてニーズの把握が必要である。
<b>事業目的</b>	中小企業に対し補助することにより、認証取得を促し国際競争力の強化及び経営基盤を確立させる。
<b>事業概要</b>	中小企業の健全経営及び経営基盤の向上を図るため、町内中小企業が行う、国際標準化機構（ISO）の認証取得経費の一部に対して助成を行います。
<b>根拠法令等</b>	寒川町中小企業ISO認証取得促進事業費補助金交付要綱

## 3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32				
年度	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
<b>事業目標</b>									年度	H24	H25	H26	計
制度周知回数（回） 広報、ホームページ、工業協会、企業訪問での説明など									計画値	0	4	4	
									実績値	0	5		
									年度	H27	H28	H29	計
									計画値	4	4	4	
									実績値				
									年度	H30	H31	H32	計
								計画値	4	4	4		
								実績値					
<b>事業効果</b>									年度	H24	H25	H26	計
支援件数（件）									計画値	0	2	2	
									実績値	0	1		
									年度	H27	H28	H29	計
									計画値	2	2	2	
									実績値				
									年度	H30	H31	H32	計
								計画値	2	2	2		
								実績値					

### 4-1. 評価

#### (1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H25	《「4-2. 改善」欄のH24年度の記載内容に関する実施状況》 企業訪問やホームページでPRした。
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	中小企業の健全経営及び経営基盤の向上と、地域経済の持続的な発展を図るためには、企業から恩恵を受けるだけでなく、企業が選べる支援メニューをそろえておく必要があると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない	
		ため、改善が必要である

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 適切である	広報、ホームページ、工業協会、企業訪問での説明、県発行の支援施策活用ガイドによりPRを実施したが、申請件数が少ない。
	<input checked="" type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善	
		する必要がある

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標の達成状況	事業目標指標の達成状況	分析内容
H24	F				
H25	D				
H26		A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

**4-2. 改善**

H24	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》 「社会的信用や作業の効率化・標準化」というISO認証のメリットについて、企業に対する周知が足りていない部分もあり、申請件数が少ない。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 ホームページや企業訪問でPRを行う。
H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》 さまざまな方法でPRしたが、申請件数が少ない
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 企業訪問等を通じてニーズの詳細把握に努め、必要に応じて、対象の拡大（エコアクション21やエコステージ等）を検討する。

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
	0	170,000	500,000						
財源内訳									
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	0	170,000	50,000						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	大山孝司	大山孝司	大山孝司						

<b>事業名</b>	<b>産学官連携推進事業</b>
------------	------------------

後期基本計画登載状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
後期基本計画(章)	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5121-03
後期基本計画(節)	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	予算科目コード	
後期基本計画(項)	工業の振興	予算区分	<input checked="" type="radio"/> 政策・一般

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>	平成22年度に藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の製造業に対して実施した実態調査によると今後連携したい相手先という質問に対して、「大学、研究機関」と回答した企業が30.3%で第3位であったことから、企業側の産学連携へのニーズが高いと考える。
<b>課題整理</b>	行政と企業との関係が希薄であったことや、寒川町内に大学がないこともあり、「官産」「産学」「官学」のネットワークが構築できていない。
<b>事業目的</b>	2市1町での広域連携及び産学官が連携できる基盤を整備し、それぞれが持つ技術や知的資源などを有機的に結び、産業課題の解決や産業力の強化を図る。
<b>事業概要</b>	平成24年度に策定した産業振興戦略をもとに企業が抱える経営上の課題に対して、2市1町（藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町）の行政や経済団体、大学が広域で連携し、人材確保、共同研究、開発などに関する支援を行う。
<b>根拠法令等</b>	

## 3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事業目標	●	●	●	●	●	●	●	●	●
【H24～H26】 連携基盤整備に向けた調査研究 【H27から変更予定】 産業振興戦略における着手事業数	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	●	—	—					
	実績値	●	—	—					
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	15	15	15					
	実績値								
【H24～H26】 連携基盤を活用した支援 【H27から変更予定】 事業に参加した企業数	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	—	●	●					
	実績値		●						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	20	20	20					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	15	15	15					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	20	20	20					
	実績値								

## 4-1. 評価

### (1) 前年度に『4-2. 改善』欄に記入した内容に関する実施状況

H25	《「4-2. 改善」欄のH24年度の記載内容に関する実施状況》 広域連携により、企業を集め、大学の研究機関の見学会を実施し、企業と大学との交流の場を設けた。
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》



**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	解決策が見いだせない企業の課題について、2市1町での大学、地域経済団体とのネットワークにより解決できる可能性がある。地域経済の持続的な発展を図るためにもネットワークをフル活用した支援が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必要性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	2市1町の広域連携によるスケールメリットを活かしつつ産業振興部会の幹事が輪番であることによる人的コストや、市町村振興補助金が活用できることで、一般財源の削減にもつながっている。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	F				
H25	F				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を 達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

**4-2. 改善**

H24	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 企業側のニーズに、産学官連携が挙げられているが、企業の技術開発や知的財産の活用などについて、大学の技術研究を利用した取り組みが進んでいない。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 広域連携や産業振興財団のノウハウ活用など、企業と大学との連携に取り組む。
H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 指標が設定されていない。
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》 平成27年度から目標指標と効果指標を設定を予定。

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	0	0	0						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	0	0	0						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	秋庭浩子	秋庭浩子	長瀬佳奈						

<b>事業名</b>	<b>中小企業融資事業</b>
------------	-----------------

後期基本計画記載状況	(有)・無										
後期基本計画(章)	魅力ある産業と活力のあるまちづくり			実施計画コード	5122-01						
後期基本計画(節)	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります。			予算科目コード	01	07	01	02	270	002	001
後期基本計画(項)	工業の振興			予算区分	政策・一般						

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>
国のセーフティーネット融資や県の小規模事業資金融資により低利で借りられるため、それらの融資を活用している企業が多いが、セーフティーネットも対象業種が絞り込まれるということもあり、この事業の活用も多くなることが考えられる。
<b>課題整理</b>
企業のニーズを把握し、より有効な融資制度にする必要がある。それぞれの金融機関への預託額についても融資の実績に応じて、配分額を検討する必要がある。
<b>事業目的</b>
町内の中小企業者及び町内に進出する中小企業者が融資を受けやすい環境を確保し、経営の安定と振興を図る。
<b>事業概要</b>
中小企業の経営の安定を図るため、融資の原資となる資金の特定金融機関への預託や実際に融資を受けた企業への利子補助を行う。
<b>根拠法令等</b>
寒川町中小企業施設整備資金特別融資要綱等、寒川町小規模事業者経営改善資金融資利子補助金交付要綱

## 3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
<b>事業目標</b>	年度	H24	H25	H26	計					
制度周知回数(回) (広報、ホームページ、工業協会、企業訪問での説明など)	計画値	4	4	4						
	実績値	4	5							
	年度	H27	H28	H29	計					
	計画値	4	4	4						
	実績値									
	年度	H30	H31	H32	計					
事業効果	計画値	4	4	4						
	実績値									
	年間融資件数(件)	年度	H24	H25	H26	計				
	H25施設整備(新規) 1件、事業資金(新規) 3件	計画値	7	7	7					
		実績値	2	4						
		年度	H27	H28	H29	計				
計画値		7	7	7						
実績値										
年度	H30	H31	H32	計						
計画値	7	7	7							
実績値										

## 4-1. 評価

### (1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	近年は国のセーフティーネット融資や県の小規模事業資金融資が低利で借りられるため、それらの融資を活用している企業が多くいるが、セーフティーネットも対象業種が絞り込まれるなど不安定要素がある。町内企業の持続的な発展を図るためには、これらの融資対象からもれてしまった企業の受け皿が必要となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 適切である	広報、ホームページ、工業協会、企業訪問等での説明、県発行の支援施策活用ガイドによりPRを実施したが、融資件数が少なく、かつ金融機関により融資件数の偏りがある。
	<input checked="" type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	C				
H25	C				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28					
H29		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H30		D	指標の80%を 達成していない		効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H31		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H32		F			その他特別な事情があるもの。
		Z			未着手

**※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

**4-2. 改善**

H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》 金融機関により融資件数にかなりの偏りがある
	<input type="checkbox"/> 休止	《改善内容》
	<input type="checkbox"/> 廃止	融資実績に応じた預託配分を検討する必要がある。
H30	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止	《改善内容》
	<input type="checkbox"/> 廃止	

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	36,493,600	36,557,400	38,068,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	3,500,000	35,000,000	35,000,000						
町債	0	0	0						
一般財源	32,993,600	1,557,400	3,068,000						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	秋庭浩子	秋庭浩子	長瀬佳奈						

<b>事業名</b>	<b>中小企業信用保証料補助事業</b>
------------	----------------------

後期基本計画記載状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無								
後期基本計画(章)	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5122-02						
後期基本計画(節)	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります。	予算科目コード	01	07	01	02	270	002	004
後期基本計画(項)	工業の振興	予算区分	政策・一般						

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>	
近年は国のセーフティーネット融資を活用している企業が多く、この補助事業の対象となる融資を受けている企業が少ない傾向にあったが、セーフティーネットも対象業種が絞り込まれるということもあり、この事業の活用も多くなることが考えられる。	
<b>課題整理</b>	
国の制度によって補助利用件数の大幅な増減があることや、補助対象融資を拡げる必要があるのか、企業側のニーズを確認するなど検討する必要がある。	
<b>事業目的</b>	
町内の中小企業者及び町内に進出する中小企業者が融資を受けやすい環境を確保し、経営の合理化安定と振興を図る。	
<b>事業概要</b>	
寒川中小企業事業資金融資、施設整備資金特別融資、神奈川県小規模事業資金の融資を利用した中小企業者に対し信用保証料の一部を補助する。	
根拠法令等	寒川町中小企業信用保証料補助要綱

## 3. 事業計画及び実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<b>事業目標</b>					年度	H24	H25	H26	計
町内金融機関や中小企業者への年間周知回数(回) 広報、ホームページ、工業協会、企業訪問、町内金融機関への説明(各2回)					計画値	12	12	12	
					実績値	12	13		
					年度	H27	H28	H29	計
					計画値	12	12	12	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
				計画値	12	12	12		
				実績値					
<b>事業効果</b>					年度	H24	H25	H26	計
補助利用者件数(件)					計画値	20	40	40	
					実績値	4	3		
					年度	H27	H28	H29	計
					計画値	40	40	40	
					実績値				
					年度	H30	H31	H32	計
				計画値	40	40	40		
				実績値					

### 4-1. 評価

#### (1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	近年は国のセーフティーネット融資を活用している企業が多くいるが、セーフティーネットも対象業種が絞り込まれるなど不安定要素がある。これからは、この補助金の対象となる融資を受ける企業が増えることが予想され、地域経済の持続的な発展と経営の合理化安定を図るためには、町が支援する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 適切である	国のセーフティーネット融資の活用ができない企業に対して支援することで経営の合理化安定を図ることができているが、信用保証料の補助対象となる融資の見直しも検討する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標の達成状況	事業目標指標の達成状況	分析内容
H24	C				
H25	C				
H26		A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

**※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

**4-2. 改善**

H25	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》 この事業の補助対象となる融資を受ける企業が少ない。
	<input type="checkbox"/> 休止	《改善内容》
	<input type="checkbox"/> 廃止	企業訪問等を通じて、企業側のニーズ把握に努める。
H30	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止	《改善内容》
	<input type="checkbox"/> 廃止	

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	298,300	266,000	1,500,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	298,300	266,000	1,500,000						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者（課等の長）	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	大山孝司	秋庭浩子	長瀬佳奈						

<b>事業名</b>	<b>起業家育成事業</b>
------------	----------------

後期基本計画記載状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無								
後期基本計画（章）	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5122-03						
後期基本計画（節）	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	予算科目コード	01	07	01	02	270	001	005
後期基本計画（項）	工業の振興	予算区分	政策・一般						

## 2. 事業内容

<b>現状把握</b>	小学5・6年生を対象とした茅ヶ崎市と共同で実施する「ビジネスのおもしろさ、大変さ」の疑似体験をする事業を実施している。
<b>課題整理</b>	23年度までは、市町村広域行政助成金と参加者負担金で事業を実施していたが、24年度からは、一般財源と参加者負担金で事業を実施している。
<b>事業目的</b>	ビジネスの疑似体験を通じて次世代の産業を支える子供たちに独創性・行動力・自立心・ビジネスセンスを身につけてもらい、将来的に町内での起業を目指す。
<b>事業概要</b>	次世代を支える子供達に普段では体験できない「ビジネスのおもしろさ大変さ」を疑似体験を通して感じてもらい、独創性や行動力、自立心を伸ばし、生きる力とビジネスセンスを身につけてもらいます。
<b>根拠法令等</b>	

## 3. 事業計画 及び 実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<b>事業目標</b>									
参加者数（茅ヶ崎市との人口割りのため最大10名）（人）	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	10	10	10					
	実績値	10	11						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	10	10	10					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	10	10	10					
	実績値								
<b>事業効果</b>									
アンケートにおける町内での起業希望者割合（%）	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	90	90	90					
	実績値	92	68						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	90	90	90					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	90	90	90					
	実績値								

## 4-1. 評価

### (1) 前年度に「4-2. 改善」欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》

**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	ビジネスの疑似体験を通じて次世代の産業を支える子供たちに独創性・行動力・自立心・ビジネスセンスを身につけてもらい、将来的に町内で起業し、地域経済の活性化に向けた活躍を期待する。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	茅ヶ崎市と合同で実施しているため、市町村振興助成金が活用できたことと、事務の負担軽減になっている。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標の達成状況	事業目標指標の達成状況	分析内容
H24	A				
H25	C				
H26		A	指標の80%以上を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

 ※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと

**4-2. 改善**

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》
H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	109,868	106,189	150,000						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	109,868	106,189	150,000						

# 町総合計画後期基本計画実施事業進行管理票（平成24年度～平成32年度）

## 1. 基礎情報

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
事務事業責任者(課等の長)	畑村正樹		畑村正樹						
担当課等名	産業振興課		産業振興課						
シート作成者	大山孝司	大山孝司	大山孝司						

<b>事業名</b>	<b>産業支援プログラム推進事業（工業）</b>
------------	--------------------------

後期基本計画掲載状況	(有)・無		
後期基本計画(章)	魅力ある産業と活力のあるまちづくり	実施計画コード	5122-05
後期基本計画(節)	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	予算科目コード	
後期基本計画(項)	工業の振興	予算区分	政策・一般

## 2. 事業内容

現状把握	企業訪問や商工会との連携により、支援メニューの検討や情報提供を行っている。
課題整理	企業訪問等を通じ、企業が求めるタイムリーで有効な支援策についてのニーズ把握が必要。
事業目的	ニーズに即した支援環境を整備し、活力ある工業の育成を図る。
事業概要	企業、商業者に対する総合的な支援体制の整備に向けた検討を行い、商工会などと連携し、起業、創業、経営相談、情報提供、基盤整備、経営の安定や合理化等に資する支援を行う。
根拠法令等	

## 3. 事業計画 及び 実施状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	●	●	●	●	●	●	●	●	●
事業目標									
支援体制整備及び支援	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	●	●	●					
	実績値	●							
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	●	●	●					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	●	●	●					
	実績値								
事業効果									
製造品出荷額（億円）	年度	H24	H25	H26	計				
	計画値	3,221	3,221	3,221					
	実績値	3,230	3,332						
	年度	H27	H28	H29	計				
	計画値	3,221	3,221	3,221					
	実績値								
	年度	H30	H31	H32	計				
	計画値	3,300	3,380	3,456					
	実績値								

## 4-1. 評価

### (1) 前年度に『4-2. 改善』欄に記入した内容に関する実施状況

H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》
H〇	《「4-2. 改善」欄のH〇年度の記載内容に関する実施状況》



**(2) 妥当性【町が主体となってこの事業を実施する必要があるのか。また、そもそも事業を実施する必要があるのか。】**

- 《評価のポイント》
- \* 町が実施すべき事業か
  - \* 町が実施しない場合の影響は
  - \* 町民との協働や指定管理者制度等のアウトソーシングの可能性は
  - \* 現在の町に必要な事業なのか（社会環境の変化などを勘案して）

年度	評価区分	理由
H25	<input type="checkbox"/> A: 町が行わなければならない	地域経済の持続的な発展、活力ある工業の育成を図るため、町が行う必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 町が行った方がよい	
	<input type="checkbox"/> D: 町が行うべき必然性が低い ため、改善が必要である	
	<input type="checkbox"/> E: 町が行うべき事業ではない ため、改善が必要である	

**(3) 効率性【事業費・人件費に無駄はないか】**

- 《評価のポイント》
- \* 事業は効率的に行われているか
  - \* コストの節減
  - \* 実施手法の改善
  - \* 受益者負担

年度	評価区分	理由
H25	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である	企業訪問等を通して、メーリングリストが構築され、情報提供や情報の吸い上げも効率的にできる仕組みが構築された。
	<input type="checkbox"/> D: 改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> E: 効率的ではないため、改善 する必要がある	

**(4) 有効性【事業の達成度はどうか】**

年度	評価区分	* 評価区分の別			
年度	評価区分	区分	事業効果指標 の達成状況	事業目標指標 の達成状況	分析内容
H24	A				
H25	A				
H26		A	指標の80%以上 を達成している	指標を達成	効果指標に対し、手段(事業目標)が合致しており、効果が出ている。
H27		B		指標を未達成	・ 手段に対し、予想以上の効果が出ている。 ・ 効果指標に対し、手段が完全に合致しているとは言えないが、効果は出ている。
H28		C		指標を達成	現時点では効果が出ていないが、次年度以降の効果が見込める。
H29		D	指標の80%を 達成していない	指標を達成	効果指標に対し、手段が合致していないなど、次年度以降の効果が見込めない。
H30		E		指標を未達成	手段が適正ではなく、今後も効果が見込めない。
H31		F			その他特別な事情があるもの。
H32		Z			未着手

➡ **※ (2) (3) (4) の評価区分がD～Zの場合には、次の「4-2. 改善」を記入のこと**

**4-2. 改善**

H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》
H○	<input type="checkbox"/> 手段を改善し、継続 (事業目標とその指標 は変更しない)	《現状・課題》
	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	《改善内容》

**5. 財源**

事業費(単位:円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	決算額	決算見込額	当初予算額						
財源内訳	0	0	0						
分担金及び負担金	0	0	0						
使用料及び手数料	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0						
県支出金	0	0	0						
財産収入	0	0	0						
寄附金	0	0	0						
繰入金	0	0	0						
諸収入	0	0	0						
町債	0	0	0						
一般財源	0	0	0						